

日々是Oracle APEX

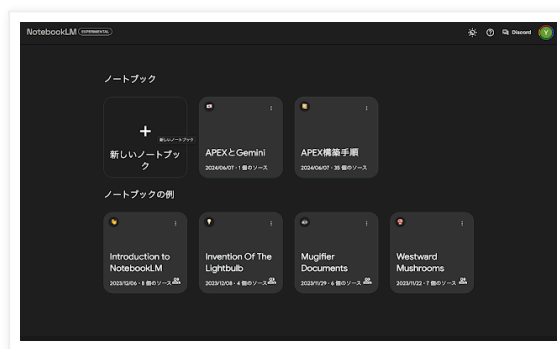
Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2024年6月7日 金曜日

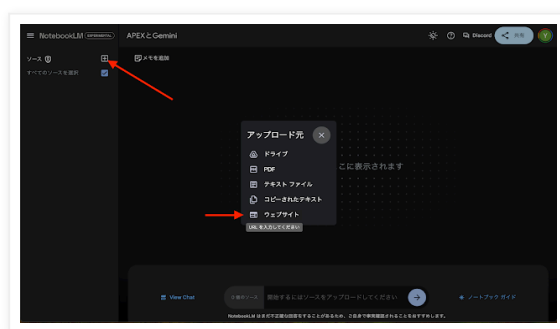
Google NotebookLMにAPEXの日本語記事を読ませて質問してみる

Google NotebookLMが日本で利用できるようになったので、本ブログの記事を読ませて質問してみました。

GoogleのNotebookLMを開き、新しいノートブックを作成します。今回は**APEXとGemini**というノートブックを作成しました。



作成したノートブックにソースを追加します。ソースのプラス（+）アイコンをクリックし、アップロード元に**ウェブサイト**を選びます。



記事「GoogleのGemini APIをOracle APEXから呼び出す」をソースに追加します。URLは以下です。URLの末尾に?m=1を追加し、モバイル向けの画面に切り替えます。この指定が無いと、画面の右にあるブログアーカイブ、関連サイト、ラベルといった情報もソースに取り込まれてしまいます。

<https://apexugj.blogspot.com/2023/12/web-credential-for-google-gemini-api.html?m=1>



取り込まれたソースをクリックし、実際にソースとして取り込まれた内容を確認します。

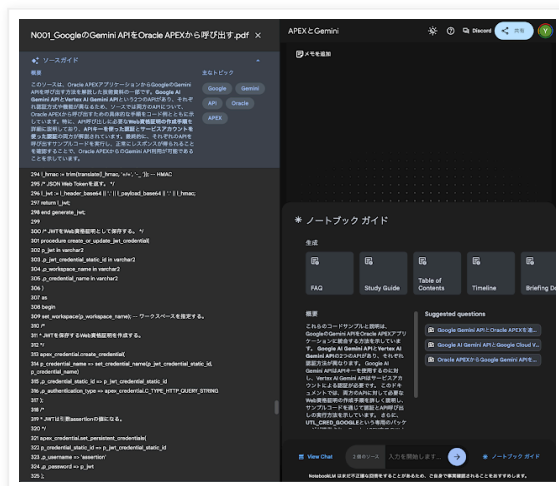
ソースガイドとして記事の概要が印刷されます。この他にも記事を取り込んでみましたが、**驚くほど適切な概要**になっています。ただし、記事にはGithub Gistのスニペットを埋め込んでいるのですが、それはソースとして取り込まれていません。



記事に貼り付けてあるスニペットもソースに取り込むために、モバイル向けのWebページをPDFに印刷し、PDFをソースとしてアップロードします。

PDFとしてアップロードすると、スニペットもソースに含まれます。

人間が読みやすいようにコードに行番号を表示していますが、AIに読ませることを考えると行番号は無い方がいい気がしています。



以下の6つの記事をソースとしてアップロードしました。

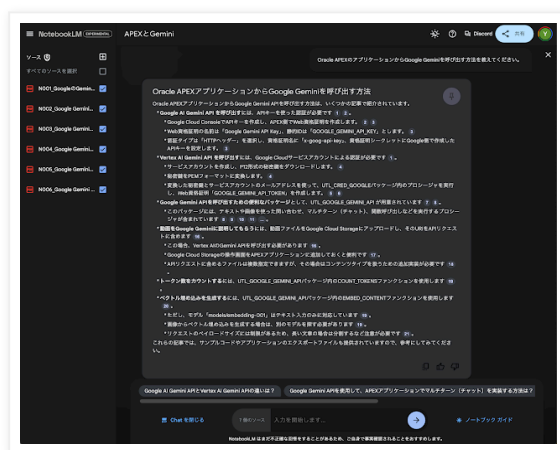
GoogleのGemini APIをOracle APEXから呼び出す
Google Geminiを呼び出すAPEXアプリケーションを作る
Google Geminiのマルチターンと関数呼び出しを実装する
Google GeminiのCount TokensとEmbed Contentを呼び出す
Google Geminiに動画について説明してもらう
Google Gemini Pro Visionを呼び出して写真の動物を説明してもらうアプリを作る

以下の質問をしました。

「Oracle APEXのアプリケーションからGoogle Geminiを呼び出す方法を教えてください。」

おおむね適切な回答になっています。

記事を探して読んで、該当する部分を自分で見つけるよりも、とにかくソースとしてPDFをアップロードして質問する方がはるかに効率が良い感じがします。



ソースコードを書いてください、という質問は、ソースにコードが含まれていても受け付けないか、記事の書き方が質問の仕方が、もしくはその双方の検討が必要そうです。

「Googleのサービス・アカウントによる認証を行うPL/SQLコードを記述してください。」

それでも回答は、そのコードに近い部分を引用しています。



NotebookLMのSourcesのLimitationsとして「Each source can contain up to 500,000 words. We'll review these limits periodically to help determine the best user experiences」とあり、1ソースあたり50万語（日本語ほぼ50万文字になるかもしれませんが）、数の上限は50（公式のドキュメントに該当する記載を見つけられなかったのですが、もしかしたらワード数のみが制限になった可能性があります）とのことです。

ノートブックを作成し、記事をソースとしてアップロードするには相応の手間がかかります。相当に有用な印象を受けましたが、現時点ではGoogle NotebookLMは試験期間中で費用は発生しないの

で、費用対効果は分かりません。OpenAIのRetrievalで同じことができる、または、その他のフレームワークでも同じことはできる、というのがありますが、アプリケーションを作らず、単にファイルをアップロードするだけ、というのはアドバンテージがあります。

とにかく、本ブログの記事以外に、マニュアルやWebページをノートブックのソースとしてアップロードして、チャットで質問して問題を解決する、というのが現実的な手段になったと言えます。

完

Yuji N. 時刻: 14:43

共有

◀

ホーム

▶

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.